

提言書

熊本魅力推進生徒会（KMSS）による、魅力ある熊本市にするための提言

私たちは、めざすべき魅力ある熊本市として、以下のようなビジョンを考えています。

◎私たち熊本市内の高校生がめざす魅力的な熊本市とは・・・

熊本で育った若者が活躍するまち

私たちは、魅力的な熊本市を目指すために以下の3点を提案します。

- ① 若者が熊本でも、国際的にも活躍できる。
 - ・ 学力向上のための、自習スペースの設置や検定料の補助。
 - ・ 留学したい人のための経済的制度を作り、国際経験ができる機会を増やす。
- ② 若者がまちづくりの主角として活躍できる。
 - ・ 若者が提案や議論をできる場を自ら運営し、それを反映・実現できる。
- ③ 若者が何事に対しても積極的に行動できる。
 - ・ 若者が積極的に行動できるための熊本の交通事情の改善と通学負担の補助。

以上を実現することで、熊本の学生が受験・就職などで世界各地の企業や大学・社会から求められ、認められる人材となると考えます。企業・大学への合格者・採用者を輩出した高校に大学や企業から推薦枠・求人の依頼が増加すれば、熊本出身者が熊本市をはじめ、いろいろな場所で活躍する機会が増え、熊本の発展に貢献できる機会が増えると考えます。

【千原台高校・必由館高校の高校生が考える魅力的な市立高校】

市内高校生たちの交流イベントの実施など、高校生の交流拠点化、市立高校の留学枠の充実など留学支援強化などを行うことにより、魅力的な市立高校となると考えます。

このビジョンに基づき、私たちは、以下の提案をいたします。

提案事項

【魅力ある熊本市にするための提案】

若者が熊本でも、国際的にも活躍できるように

- ① 小学生、中学生、高校生向け自習スペースの設置、塾代一部負担
- ② 英語教育支援と、外国の方との定期的交流
- ③ 熊本市高校生の留学支援制度復活
- ④ 熊本市内の高校体験授業
- ⑤ 各種検定の受験料を免除、または補助

若者がまちづくりの主役として活躍できるように

- ⑥ 高校生が市や学校への提案などまちづくりに参加する仕組みの構築
- ⑦ 高校生交流のための行事企画・運営に対しての財政支援
- ⑧ 地域活性化を促すための高校生用 HP 作成
- ⑨ 街中で空き店舗になっているところに高校のアンテナショップの設置
(学生用品リ サイクルショップ、自分たちで作ったものの物品販売など)
- ⑩ 幅広い世代が交流するためにカフェと子供向け遊具や認知症対策ゲームが取り入れられている広場の設置
- ⑪ 誰もが利用できる小さなコンサート広場の設置
- ⑫ 制服ファッションショーや制服を提示できる場所の設置

若者が積極的に行動できるように（交通事情の改善）

- ⑬ 高校生の利用希望を調査してそれに合わせてバスの本数を増やす
- ⑭ 熊本市内の高校に通う生徒は市内のバスと電車の運賃を安くする
- ⑮ 高校生の移動意欲を向上させるため、バスの沿線に学割が使える店を増やす
- ⑯ 交通量が多い道路に自転車専用レーンを作り、学生専用自転車置き場を設ける
- ⑰ 高校生限定バス（熊本市内にある高校を地域ごとに分けて回るバスを作る）

【魅力ある市立高校にするための提案】

- ◎市内高校生たちの交流イベントの実施など、高校生の交流拠点化
- ◎市立高校の留学枠の充実など留学支援強化
- 交流拠点化するための必由館高校体育館のエアコンの設置
 - ※ ◎は千原台、必由館両校ともに要望するもの
 - は必由館のみ。

提案の詳細

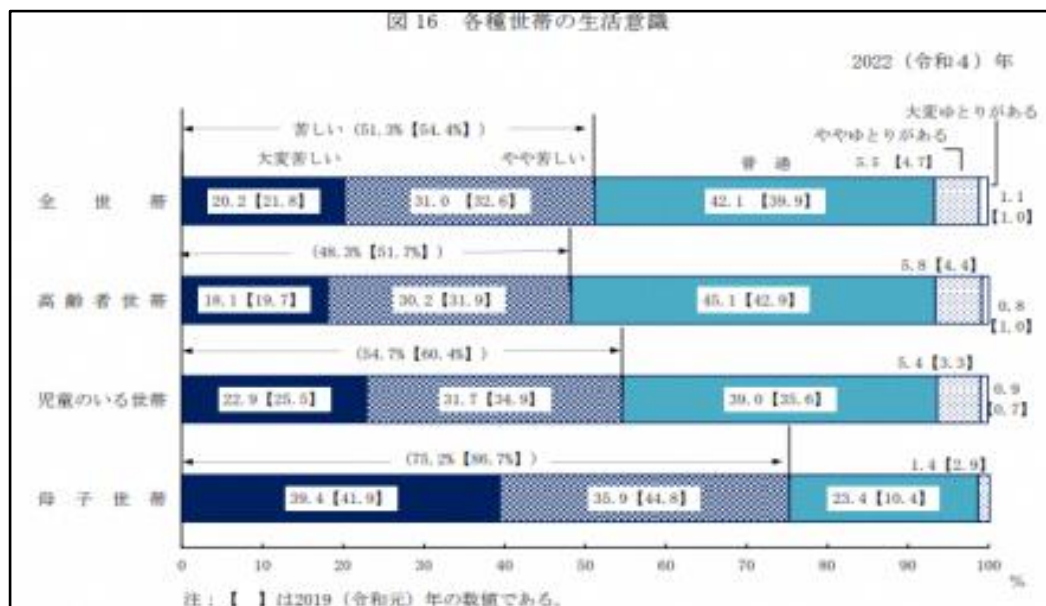
① 学生向け自習スペースの設置

(1) 提案内容

熊本市の中心部で空き店舗となっている建物の一角などを熊本市で借り上げ、県内在住の小学生、中学生、高校生向けの学習スペースを設置するとともに、その目的である市内の小中高生の学力向上を達成するために勉強を教える人員も募集することを提案する。例えば、教育学部に在籍する大学生やALT教員のほか、小中学生の学習サポートを行う中高生も募集する。幅広い年代を対象とすることで地域社会の交流にもつながり、勉強を「教える」、「教わる」という点でも双方に良い利益をもたらす場とする。特にALT教員に来ていただくことで生徒の英語力向上のみならず、異文化交流も深まり急速に発展しているグローバル社会に適応可能な人材の育成にも期待できるほか、教員自身の日本語スキルの上達にもつながる。また、身近なアジア圏との交流も近年深まっており、熊本市在住の韓国人や中国人、台湾人など在住外国人の方々にも参加いただき、韓国語や中国語などを学ぶ機会も設けたい。また、教員を目指す学生にとっては将来教育の場で働く際の自信にもなり、熊本市や熊本県の教育力向上の拠点にすることもめざす。

(2) 提案理由

- ・2023年現在、学生向け自習スペースは熊本市内には健軍、水前寺、新水前寺の3ヶ所、八代市にあるものを含めると4ヶ所にあるが、いずれも市の中心部である熊本駅や中央区から少し離れており、全ての高校生にとってという観点からすると利便性が良くない。また、利用料金は月額1万2000円～2万1000円となっており、年間計算すると14万～25万円程度にも及ぶ。厚生労働省による2022(令和4)年、国民生活基礎調査の概況による「各種世帯の生活意識」では、「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計が、「児童のいる世帯」は54.7%、「母子世帯」では75.2%もの割合を占めている。



(図 1 各世帯の生活意識) 厚生労働省による 2022(令和4)年、国民生活基礎調査

- ・営業時間は平日の 14:00 から 20:00 までとする。放課後、部活動終わりに学習できるようにするため。
- ・自動販売機やドリンクバー（レンタルできる業者はある）を置き、カフェスペースのような場を設置する。このカフェスペースでは飲料代から利益も生まれ、学生同士の交流の場にもなる。また、休日は学習スペースを会議室やコワーキングスペースとして一般に貸し出すなどし、更なる利益を生み出したい。収益は Wi-Fi 設備、コピー機、個別ブースの設置など学習室が充実するような設備投資に活用する。
- ・平日、生徒が学校にいる時間は不登校の児童・生徒たちの学習スペースとしても貸し出し、「居場所」を確保する。
- ・熊本県下のほとんどの学校でタブレット端末の貸与がなされているので、端末を活用した学習も考えられるため、Wi-Fi 設備も導入する。

(3) 設置場所等

①上通内でテナント募集など、熊本市中心部で空き店舗となっている建物の一角を熊本市で借り上げ、県内在住の小学生、中学生、高校生向けの学習スペースを設置する。市内全域の小中高生が広く利用しやすいよう、公共交通機関が充実しておりアクセスのいい中心部で実施する。市生連（熊本市内の高校全て加盟）の取り組みの一環で上通、下通、新市街、サクラマチまで巡視（補導）をした際に、同行した中央警察署、商店街関係者から、カフェなどでコーヒ一杯だけで、長時間パソコン、教科書を持ち込み勉強する社会人、高校生がいて困っているなどの話もあり、こうした商店街との連携も考えられる。熊本市内にある二大図書館（県図書・市図書）はどちらも共に館内の資料を用いた学習のみ OK となっているが、運営上はいずれの図書館も資料活用以外の自分の勉強をしてもよいとされているが、夏季休業期間などは利用者が多く、朝などは図書館利用のため行列が出来ており、こうした学生のニーズの答えるためにも、熊本市の中心部での学習スペースの新設だけではなく、図書館における自習スペースの充実も併せて提案する。

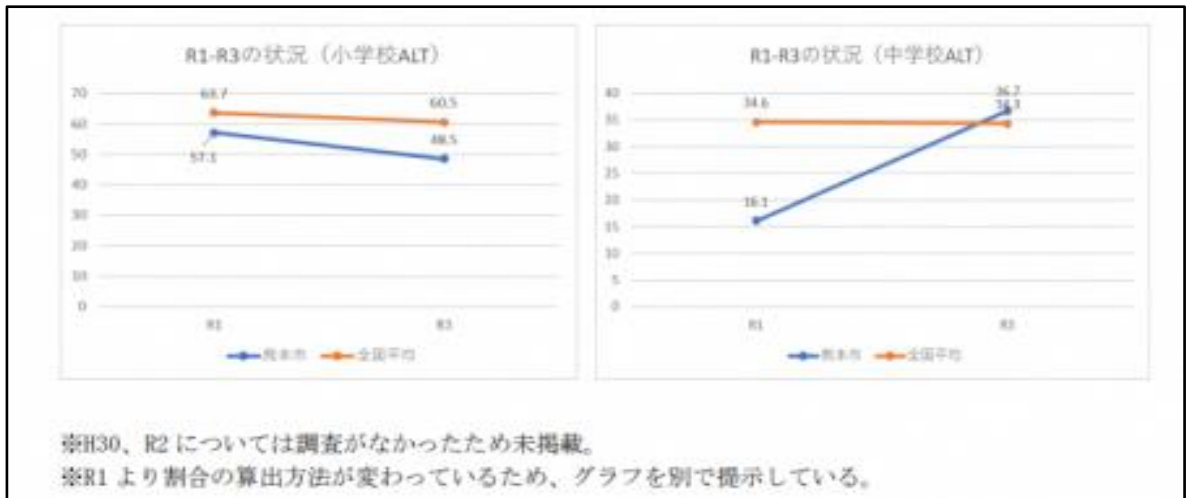
② 英語教育支援と、外国の方との定期的交流

(1) 提案内容

学生向け自習スペースにおける ALT や熊本市在住外国人の協力による英語教育支援等を行う。ALT 教員の協力で、少しでも英語に触れる機会、英語を使う機会をつくり、「話す」力を養っていくことを提案する。

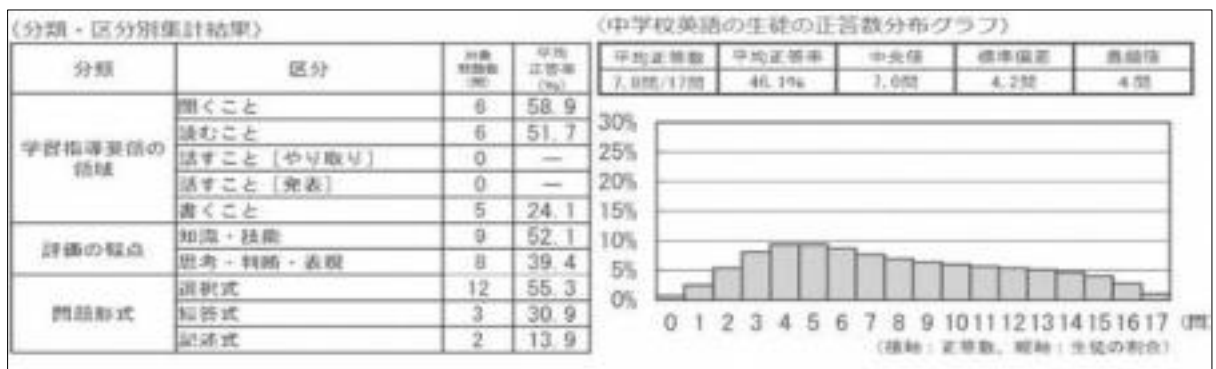
(2) 提案理由

2023（令和 5）年の熊本市による「こどもを核としたまちづくり・人口減少に対応した DX の推進に係る要望」調査の「グローバル化に対応した英語教育の推進に伴う財政支援の充実」を見ると、小学校ではまだ全国平均を下回るものの、中学校では熊本市が全国平均を上回った。2020 年度から本格的に全国の小学 3～6 年生で英語授業が導入され、熊本市では 2018 年度から実施している。」



（図2）2023（令和5）年の熊本市による「こどもを核としたまちづくり・人口減少に対応したDXの推進に係る要望」調査

また、TSMCの熊本県内進出により増える外国人駐在員の子どもの教育を目的に、熊本市内の学校がインターナショナルスクール小学校部を2024年春に開設するなど、熊本市内における英語教育等のニーズはさらに高まる可能性がある。



教科に関する調査結果概要

◆全国（国公私）の平均正答数・平均正答率（※1）

	小学校		中学校			
	国語	算数	国語	数学	英語（※2）	英語「話すこと」（※2）
令和5年度	9.4/14問 (67.4%)	10.0/16問 (62.7%)	10.5/15問 (70.1%)	7.7/15問 (51.4%)	7.8/17問 (46.1%)	0.6/5問 (12.4%)
【参考】 令和4年度	9.2/14問 (65.8%)	10.1/16問 (63.3%)	9.7/14問 (69.3%)	7.3/14問 (52.0%)	11.9/21問 (56.5%) (※3)	1.5/5問 (30.8%) (※3)

（※1）各年度の統括の難易度を調整する設計とほしておらず、年度によって出題内容も異なることから、過年度の結果と単純に比較することは適当ではないことに留意。

（※2）中学校英語の調査結果は「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計を集計。
 英語「話すこと」調査の結果については、文部科学省が当日実施校として指定した一部の中学校（500校）において、4月18日（火）に英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」全ての調査を実施した生徒のうち、1校限りで正常に全ての音声データが登録された生徒（499校、41,966人）の結果をもとに平均正答率等の全国値を算定。

（※3）中学校英語及び英語「話すこと」については、前年度実施時（平成31年度）の数値。また、平成31年度の英語「話すこと」は「発表」として実施。

（国立教育政策研究所 令和5年度 全国学力・学習状況調査 報告書・調査結果資料）
 一方で、国立教育政策研究所による「令和5年度全国学力・学習状況調査の結果」で4技能別にみると、聞く「58.9%」、読む「51.7%」、書く「24.1%」、そして話す「12.4%」という結果にとどまっており、日本の中学生は英語の技能の中でも特に「話す」力が圧倒的に低いことがわかる。

③ 熊本市高校生の留学支援制度について

(1) 提案内容

- ・ 熊本市立高校独自の留学支援制度の新設。
- ・ 支援を受けられる定員枠を以前より増やす。

(2) 提案理由

市立高校では熊本市と姉妹都市の関係にあるアメリカのサンアントニオ市へ 1～2 名の他、中国の桂林やドイツのハイデルベルクと交換留学をしていたが、新型コロナウイルスの感染拡大により国を超えた活動が控えられ、留学先の学校も日本学部が閉講するなどで継続が難しくなり、交換留学制度はなくなってしまった。熊本県が行っている熊本県留学支援金制度はあるが市立高校は対象外となっている他、募集人員も熊本県全体で 9 人と少ない。

主要国 5 カ国への留学の 1 年間にかかる料金は、アメリカでは 500 万円以上、ヨーロッパでも 250 万円以上と言われる。（留学ワールドより）

経済面で留学を諦めている高校生も多く、こうした高校生に留学できる機会を与えることができる。

また、留学に行ける中高校生が増え、留学の魅力を共有してもらうことで、留学に行ったことのない中高校生も海外の文化を間接的に感じるようになる他、留学に興味をもつことができる。英語が得意な中高生だけでなく、幅広い中高生が、多文化は面白い、英語は楽しい、もっと英語を学びたい、英語を話すことが出来るようになりたい、と留学に行ってみないとわからなかったことを感じるすることができる。

④ 熊本市内各高校同士の体験授業実施

(1) 提案内容

本市内の熊本市内各校同士の体験授業を実施する。最初は市立高校 2 項からスタートし、近隣の高校から徐々に市、県へと拡大していき様々な高校で体験授業ができる機会を設けていく。

(2) 提案理由

実施を希望する理由としてまず、学習意欲を高めることを目的とする。例えば、「自校の授業が合わない」、「友人の学校の授業についての話を聞いたとき、興味が湧いた」、「自分に合った勉強法を見つけない」、「異なった学科の授業を受けてみたい」、「他校の授業風景を見てみたい」などの思いを解消できると考える。入学後にしかわからないこともあるので視野を広げ、熊本市内にある高校同士、お互い体験授業を通じて学んだ良い点を取り入れ自校を更に魅力的な学校にしていきたい。様々な高校とふれあえる機会というのは貴重な時間になると考える。また他校間の交流も図ることができる。

⑤ 各種検定の受験料を免除、または補助

(1) 提案内容

・検定内容

実用英語技能検定、日本漢字能力検定、実用数学技能検定などを中心に、他、商工業系検定（日本商工会議所及び各地商工会議所主催簿記検定、情報処理活用能力検定の受験料の免除または、補助する。

・検定回数

ただし回数に制限を設ける。例えば、「実用英語技能検定 2～5 級は 1 回のみ、1 級は 2 回、準 1 級、1 級は非常に高難易度の試験内容のため 3 回まで免除、補助対象とする。ただし、どの級も最初の 1 回目から 3 回目までの受験範囲が 1 年 6 ヶ月以内までに受験する試験を対象とする。」などの具体的な条件を提示する。また、初回を無料にし 1 回目を全力で取り組ませることにより、高い合格率に繋がる可能性もある。

(2) 提案理由

入試を受けられる大学は、ここ 5 年間で 2 倍以上になるなど、増加傾向にあり、2021 年度は 234 大学であったが、2023 年現在 366 大学に増加している。英検は全国の大学の約 61% が評価、活用しているほか、漢検活用企業は 468 社あり、社員教育で漢検を活用する企業も 69 社ある。（公益財団法人 日本漢字能力検定協会より）

一方、2021 年度から日本英語検定協会は英検の検定料金値上げを行っている。

従来型英検の検定料の変化（円）

		02年度まで	03-13年度	14-15年度	16年度	17-18年度	19年度	20年度	21年度	値上げ幅
1級	本会場	5,500	7,500	8,400	→	→	9,500	10,300	12,600	2,300
	準会場	→	→	→	→	→	→	→	→	→
準1級	本会場	4,500	6,000	6,900	→	→	7,600	8,400	10,700	2,300
	準会場	→	→	→	→	→	→	→	→	→
2級	本会場	3,500	4,100	5,000	5,800	→	6,500	7,400	9,700	2,300
	準会場	→	3,900	4,600	5,400	→	5,500	→	6,500	1,000
準2級	本会場	3,000	3,600	4,500	→	5,200	5,900	6,900	9,200	2,300
	準会場	→	3,400	4,100	→	4,800	4,900	→	5,800	900
3級	本会場	2,000	2,500	3,200	→	3,800	4,900	5,900	7,900	2,000
	準会場	→	2,300	2,800	→	3,400	3,900	→	4,800	900
4級	本会場	1,000	1,500	2,100	2,600	→	3,600	→	4,900	1,300
	準会場	→	1,300	1,600	2,100	→	2,600	→	2,900	300
5級	本会場	900	1,400	2,000	2,500	→	3,000	→	4,500	1,500
	準会場	→	1,200	1,500	2,000	→	→	→	2,500	500

（公益財団法人 日本漢字能力検定協会資料）

受験料は 5 年前と比較すると 5 級は 2,000 円増し、入門級である 3 級は 4,100 円増しと 2 倍以上の値上げとなっている。こうした値上げは、受験者である学生やその保護者がすぐに SNS で 値下げの抗議になるなど話題になったが、英語検定試験の中で国内での知名度も高く、検定料もリーズナブルだった英検も今では手の届きにくいものになりつつあり、受験することによる生活の負担は増す一方になっている。検定料の免除や、補助の制度ができることにより、経済面で受験が難しかった生徒が受けやすくなるほか、一度は受験したものの不合格で諦めていた生徒がもう一度チャレンジしようと思えるきっかけになる。検定合格を目標にする生徒が増え、勉強への意欲が湧く生徒が増加し、熊本市内の各種検定合格者数の増加にもつながる。

⑥ 高校生が市や学校への提案など、まちづくりに参加する仕組みの構築

(1) 提案内容

今年行った「熊本市 生徒主体の学校運営プロジェクト」および、熊本市内にある高校の生徒会を集めて設置した「熊本魅力推進生徒会」等を通じた、高校生が市や学校への提案など、まちづくりに参加する仕組みをさらに整備する。

また、こうした活動を推進していくため、活動をメディアに取り上げて頂いたり、「熊本魅力推進生徒会」による活動や、先進地・先進学校等への高校生による視察の実施を行う。

(2) 提案理由

8月7日、熊本市内にある高校の生徒会を集めた「熊本魅力推進生徒会」を創設し、第一回目の会合を開催した。その際の意見交換では、熊本市内では、各校ごとに校則が異なっており、不平等感がある、他校の校則について知りたい、といった意見が出た。生徒会イベントでは、「校則」をテーマに話し合うなど、各校の校則について意見交換を行うなど、他校の 良い取り組みについて知ること、熊本市が推奨する「生徒が主体となった校則検討」が更に推進させていくことにつなげるものではないかと考える。また、岐阜県の公立高校、岐山高校では髪形や化粧に関する校則を試験的に廃止し、ルール必要性や自由とは何かを生徒たち自身が考える期間とした、というニュースがあっていたが、そのように先進的な取り組みをしている学校を視察に行くことなども出来れば、更に私たちの知見も広がると考える。

⑦ 熊本市内の高校生の交流拠点整備および、交流行事の企画・運営に対しての財政支援

(1) 提案内容

熊本市内在住及び通学する高校生が、高校生同士の交流を促進するための交流拠点の整備を行うとともに、「交流」をテーマにした生徒会イベント、文化イベント、スポーツイベントを高校生主体で開催する上での諸費用（会場整備費、会場借用費、参加者保険費、イベント周知のための広報費など）の支援する仕組みを構築する。

○具体的なイベントイメージ

・生徒会イベント

8月7日に行った「第一回熊本魅力推進生徒会」で、各校ごとに校則が違っており、不平等感がある、他校の校則について知りたい、といった意見が出た。生徒会イベントでは、「校則」をテーマに話し合うなど、各校の校則について意見交換をするなど、他校の 良い取り組みについて知ること、熊本市が推奨する「生徒が主体となった校則検討」が更に進むのではないかと考える。

・文化イベント

毎年6月に熊本県総合文化祭が、県立劇場で開催され、合唱や演劇、吹奏楽演奏 などレベルの高い文化交流が行われているが、各学校の文化祭などでは、K-pop ダンスや、バンド演奏などが人気である。また、総合文化祭は総合体育大会と時期が重なっており、運動部に所属している生徒は見に行くことが出来ないことが多い。そのような理由から、県立劇場や、はあもにい、市民会館、国際交流センター、熊本城ホールなど普段は敷居が高く、なかなか行くことが出来ないようなホールを使って、ダンスやバンドなどを含めた楽しい音楽イベントを開催する。

- ・スポーツイベント

文化イベントと同様、総合体育大会のような専門的に練習をしてきた競技で競うのではなく、各学校がクラスマッチとして行っているイメージで、各校交流を目的としたスポーツイベントを開催する。

○具体的な支援要望案

- ・会場整備費補助

いろいろなイベントをするにあたり、沢山の人を呼ぶことが出来て、オールシーズン活動が出来る会場は必須である。そこで、熊本市の中心にあり、交通の便も良い、必由館高等学校の体育館にエアコンを設置し、高校生が主宰するイベントの会場として活用できるようにする。

- ・会場借用費補助

体育館では開催しにくいような催し物をするため、県立劇場や、はあもにい、市民会館、国際交流センター、熊本城ホールなどの借用費の補助。

- ・参加者保険費補助

誰もが安心してイベントに参加できるよう、一日イベント保険等の費用の補助。

- ・イベント周知のための広報費

ポスター作製や、SNSでの発信など、イベント周知のための広報費として実際にかかる分の費用負担の補助。また、イベントを主催する高校生が無償労働にならないように、活動に対する賃金の支払い。

(2) 提案理由

熊本市では、文化祭や体育祭など学校毎のイベントに力を入れている学校も多く、高校生にとっても一生の思い出に残るような取り組みとなっている。一方で、市内全体での高校生の「交流」という面からみると、他校の行事にお客として参加することはあっても、主体となって参加することはできない現実がある。そこで、高校生同士の交流を目的とした生徒会イベント、文化イベント、スポーツイベントを高校生主体で開催する上での諸費用（会場整備費、会場費、参加者保険費、イベント周知のための広報費など）の支援をお願いしたい。高校生の交流が活発になることで、若者のコミュニケーション能力が養われ、これからの熊本市にとって、他県や、諸外国との活発な交流を行うための人材育成につながると思う。また、文化活動に興味を持つ人が増え、熊本市の文化発展に貢献できるほか、普段行っていない運動にチャレンジしたり、普段運動をしない人のきっかけづくりをしたりすることで、若者の体力向上や、生涯スポーツへの興味・関心につながり、熊本市民の健康保全にも貢献できる。こうした取り組みは、高校生の熊本市に郷土愛の醸成にも繋がり、将来、熊本市に戻る人や、地域で活躍する人材の養成にもつながる。

⑧ 地域活性化を促すための高校生用 HP 作成

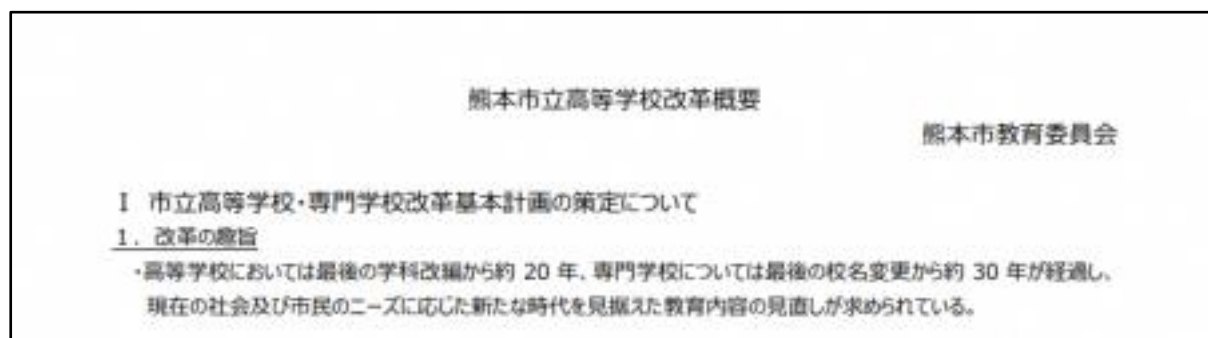
(1) 提案内容

市内の高校生が自由に学校行事の予定や学校紹介をしたり、イベント情報を発信したりするなど、高校生に関わる情報を自由に書き込める HP の作成。HP 内に相談スペースを作り、高校生の悩みに高校生が応える。

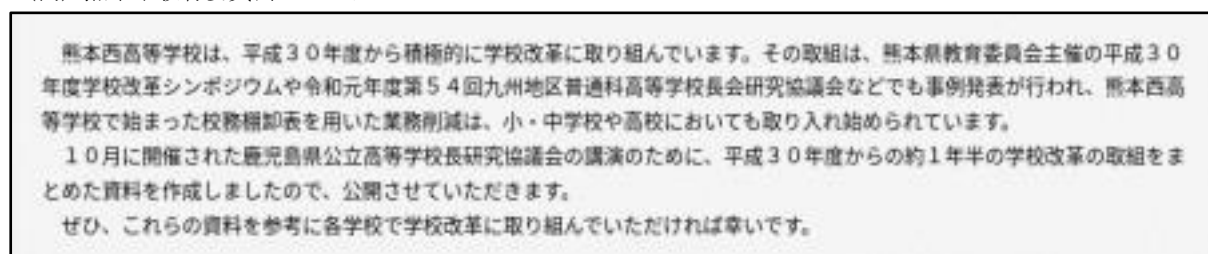
(2) 提案理由

どの学校でいつ、どのような行事があり、他校生は参加できるかなど、他校の情報を得る機会が少ない。8 月 7 日に行われた第一回熊本市魅力推進生徒会では「県劇で各高校出し物」「熊本市の高校を集めて祭りの実施」「学校対抗運動会」を行いたいとの意見が出た。高校生用 HP を作成すれば、熊本市内の高校生に学校間での交流をしたいかアンケート

トを取ることができ、実現することができる。他、熊本市内の高校生にアンケートを取りたいことがあれば HP 内で簡単にアンケートを取ることができ、生徒会活動など様々なことに活用することができる。また、HP を作成することで他校の行事の情報を得ることができ、県内の高校生同士、地域との関わりがより密接になっていく。そこから他校と連携して合同作業を行うこともできる。また、学校説明会にプラスして、中学生などに学校の情報を知ってもらうことができる。



(例) 熊本市教育委員会 HP より



(例) 熊本県立高校の HP より

最近では教育委員会や市内の高校で学校改革、教育内容の見直しが行われている。どんどん学校改革が進んでいる中で、正確な情報に加え学校紹介などを簡単に知ることができれば進路決定の参考にもなり、進学後の生徒が思っていた学校のイメージと実際の学校での違いをなくすることができる。



(例) 必由館高等学校 HP より

必由館は来年度から新コースができるが、新コースができるという情報は、必由館 HP 内と学校説明会でしか提示していない。必由館志望の人は新コースについて理解しているが、必由館志望でもない人にも情報が行き渡ってほしい。

・高校生が高校生の相談に応えるスペースを HP 内に作成

自分で悩みを抱えているが誰にも相談できずにいる高校生がいる。HP 内に匿名相談できるスペースを作ること、悩みを気軽に相談でき、一人で悩みを抱え込む子を助ける。

こころの相談窓口一覧を見てみると、掲載されているすべての相談所が専門機関であ

る。同じ年の子たちへの相談では、大人とは違った視点での相談を行うことができる。同じような境遇の人のほうが話しやすいこともある。

いのちをつなぐ。	
+ ところの相談窓口一覧 +	
一人で悩まず、勇気を出してあなたの身近な人や、専門機関に相談を！	
ところの悩み相談	
熊本県精神保健福祉センター	096-386-1166
熊本市ところの健康センター	096-362-8100
社会福祉法人 熊本のいのちの電話	096-353-4343
(受付10日はフリーダイヤル) 0120-783-556	
(公社)熊本県福祉保健福祉協会 熊本こころの電話	096-285-6688
ところの健康相談	
熊本県有明保健所 (高崎市・高崎市・高崎市)	0968-72-2184
熊本県山鹿保健所 (山鹿市)	0968-44-4121
熊本県菊池保健所 (菊池市・菊池市・菊池市)	0968-25-4138
熊本県阿蘇保健所 (阿蘇市・阿蘇市)	0967-24-9036
熊本県御船保健所 (上益城郡)	096-282-0016
熊本県宇城保健所 (宇土市・宇城市・宇城郡)	0964-32-1207
熊本県八代保健所 (八代市・八代市)	0965-33-3229
熊本県水俣保健所 (水俣市・水俣市)	0966-63-4104
熊本県人吉保健所 (人吉市・人吉市)	0966-22-3107
熊本県天草保健所 (天草市・天草市・天草市)	0969-23-0172
福祉に関する総合相談	
熊本県福祉総合相談所	096-381-4411
熊本市障がい者福祉相談所	096-362-6500
障がい者110番	096-354-4110
消費者・法的トラブルに関する相談	
熊本県消費生活センター	096-383-0999
熊本市消費者センター	096-353-2500
熊本地方裁判所	096-325-2121
熊本県弁護士会(法律相談センター)	096-325-0009
熊本県司法書士会(総合相談センター)	096-364-2890
熊本県青年司法書士会	096-364-0800
(アシスト・ダイヤル・ダイヤル110番)	
法テラスコールセンター	0570-078374
法テラス熊本法律事務所	050-3383-5522
法テラス高森法律事務所	050-3383-0469
熊本地方司法局人権擁護課	096-364-2145
生活安全に関する相談	

(熊本県ホームページに掲載されている相談所の一部)

本 県	(国公立小・中・高等学校)
	暴力行為の発生件数は274件と、前年度より57件増加し、児童生徒1千人当たりの発生件数は1.4(+0.3)件である。
	小学校:130(+62)件、中学校:91(-21)件、高等学校:53(+16)件で、合計:274(+57)件

(熊本県 HP 記載、報道資料の一部)

熊本県内の暴力行為の発見件数が前年度より 57 件増加している。HP 内でいじめ、暴力等の情報を受け付けることでいじめを可視化していじめを削減していく。また、いじめを報告しやすい環境を作ることはいじめをしにくい環境づくりをしていくことも大切だと考える。

○学生用 HP 作を作成するために

- ・熊本市役所のデジタル部門担当者による HP 作成指導
こんな HP を作れたら良いというイメージはあるが、そのイメージを上手に表す技術や、使いやすく見やすい HP を作る技術がないので、HP 作成に関するノウハウを得ることができれば、完成から運営までスムーズに行うことができる。
- ・学生用 HP 作成者は高校生の中から募集し、活動手当を支給する。
- ・学生用 HP の運営は公的機関が担当をする。

⑨ 街中で空き店舗になっているところへの高校のアンテナショップの設置 (学生用品リサイクルショップ、自分たちで作ったものの物品販売など)

(1) 提案内容

街中にある空き店舗に高校のアンテナショップを作り、制服を紹介したり、学生用品のリサイクルをしたり、高校生が制作したものの販売を行う。

(2) 提案理由

コロナ禍を経て、街中にも空き店舗が散見されるようになった。各学校には沢山の専門コースがあるが、発信できる場が制限されるため、アンテナショップを作ること、各高校の魅力を発信したり、実際に体験したりすることで一般の方はもちろん、特に中学生にも各高校を知るきっかけにすることができるほか、興味をもち、専門の道に進みたいと思う若者が増える。

また、経済状況が厳しく、学生用品を買えない人や、そこまでではなくても子育てにかかる費用が家計の負担になっている人は多い。一方で、学生用品は卒業など使わなくなると捨てる人も一定数おり、こうした学生用品のリユースできるものを集め、購入できるリサイクルショップを作る。学用品のリユースの仕組みを作ること、今まで捨てていたものや捨てづらかったものを寄付することができるようになり、また、学生用品を揃えることが難しい人でも寄付されたものを販売することで、低価格で購入しやすくなる。また、環境負荷を少しでも減らすことができ、社会貢献にもなる。

⑩ 幅広い世代が交流するためにカフェと子ども向け遊具や認知症対策ゲームが取り入れられている広場を設ける。

(1) 提案内容

熊本市には、幅広い世代の人が交流できる場が少なく、子どもたちと高齢者など、異年齢が交流を持つためのきっかけがない。そこで、誰もが気軽に寄れる広場をもうける。

(交流イメージ)

(2) 提案理由

世代間交流の場を設置することで、異年齢や異文化も含めた人とのコミュニケーションが生まれ、高齢者などにとっては健康維持や生きがいにもつながる。また、若者が高齢者と関わる場を設けることによって言語聴覚士や理学療法士など将来の夢の幅が広がる。

⑪ 誰もが利用できる小さなコンサート広場の設置

(1) 提案内容

沢山の人が集まる場所に誰もが参加できるコンサートホールがなく、自分を表現できる場所が限られるため、届を出せば、無料で使用できるコンサート広場を作る。

(2) 提案理由

コンサート広場の設置によって、若者も文化に触れる機会が増え、芸術を通して、熊本を盛り上げることができる。また、幅広い年代の人が気軽に使うことができ、特に高齢者にとっては舞台に立つ側も見つめる側も趣味の一つとなり、健康につながる。

⑫ 制服ファッションショーや制服を提示できる場所の設置

(1) 提案内容

熊本市内では今新しい制服の導入などもあり、各高校の制服を知らない中学生などが増えてきている。こうした中学生のため、高校選択の一つの選択肢として、⑨で提案したアンテナショップなども含め、制服ファッションショーや掲示できる場所を設ける。

(2) 提案理由

各高校の制服を知ってもらうことで、中学生は高校を選ぶきっかけとなる。また同時に、高校の紹介も合行することで、中学生はもちろん、幅広い熊本市民の方に熊本市内の高校の特徴や魅力を知ってもらうことで、こうした市内高校を身近に感じてもらい、新たな

まちづくりにおいても高校生を当事者として巻き込むきっかけにできるのではないか。また、定員に満たない高校にとっては、志望者を増やすきっかけにもなるのではないか。

⑬ 学生の利用希望を調査して、それに合わせてバスの本数を増やす

(1) 提案内容

学生の利用希望を調査して、それに合わせてバスの本数を増やす

(2) 提案理由

高校生の移動手段は、自転車か公共交通機関であることが多いが、熊本市内の交通の便は地域によっては1時間に1本しかバスが出でない場所もあるため、希望を調査して、ニーズが多い時間帯の本数を増やす必要がある。

そうすることで、希望に合った時間にバスを利用することができ、利用者数が増加する。また、バスが便利に使えることで、車で送迎してもらう学生が減り、登校時の交通渋滞が緩和する。

⑭ 熊本市内のバスと電車の運賃を安くするための工夫をする。

(1) 提案内容

学生通学応援店舗として、協力していただける店舗の希望を募り、その店舗で買い物をしたまったポイントを交通チケット（〇〇円分）と交換できるようにするなど、熊本市内のバスと電車の運賃を安くするための工夫をする。

(2) 提案理由

熊本市内の高校に通学する生徒の中には市外から通学している人も多く、市内から通学している人よりも料金の価格がかなり負担になっているため、運賃を安くする必要がある。高校生通学応援店舗で買い物をするとポイントが付き、ポイントが貯まると交通チケットがもらえるなど運賃補助の取り組みを導入することで、公共交通機関を利用する人が多くなり、高校生の行動意欲が向上する。

ポイントをためるためのカードのデザインを高校生が作成することで、高校生利用のための発信力になり、利用意欲が向上する。

⑮ 高校生の移動意欲を向上させるため、バスの沿線に学割が使える店を増やす

(1) 提案内容

最近では学割があるお店が増えてきているが、より熊本市内を盛り上げるために桜町やアミュプラザなどの学生が多く行く場所に、学割があるお店を増やす

(2) 提案理由

学割があるお店を増やすことで学生やお店側、観光面でも利点がある。⑭で述べた交通費補助に学割が使えるお店での買い物で溜まったポイントなどが使えるようにすれば、更に利点が増えると考ええる。

⑩ 交通量が多い道路に自転車専用レーンを作り、学生専用自転車置き場を設ける

(1) 提案内容

交通量が多い道路に自転車専用レーンを作り、学生専用自転車置き場を設ける

(2) 提案理由

自転車と自動車の衝突事故が多発しているためヘルメット着用を呼びかけたり、自転車と自動車との距離が近すぎて危険であったりすることから、自転車専用レーンを作ると事故や危険度を改善することができる。また学生用の自転車置き場があることによって安全や盗難防止になり、また料金を無料にすることでより利用する人が増加する。

そうすることで、より多くの人たちが安全にかつ自転車で街に行く人が増えて街の活性化にもつながる。

⑪ 朝（登校時間）限定で熊本市内にある高校を地域ごとに分けて回るバスを作る

(1) 提案内容

登校時間（6：00～8：00 ごろ）限定で、熊本市内にある高校を、地域ごとに分けて巡回するバスを作る。

(2) 提案理由

通学時間に一般利用客の方と共にバスを利用する学生が多く、時間帯によって、バス内が混雑することがある。学生用のバスを設けることによって混雑を防ぎ、一般利用客がバスをより快適に利用することができる。また、バスを利用する学生の中には乗り換えをしている学生が多く、その分料金がかかるため、学校間をダイレクトに巡回するバスがあれば、学生の負担減につながる。

学校で希望を取り、人数によっては、大型バスでなく、小型バスを使えば、空き席が多いバスが減るのではないかな。

【魅力ある市立高校にするための提案】

◎市内高校生たちの交流拠点化のための体育館のエアコン設置

・提案内容 ・提案理由

必由館高等学校を熊本市内高校生の交流拠点とするため、いろいろなイベントをするにあたり、沢山の人を呼ぶことが出来て、オールシーズン活動が出来る会場とするためにも、熊本市の中心にあり、交通の便も良い、必由館高等学校の体育館にエアコンを設置し、高校生が主宰するイベントの会場として活用できるようにする。

◎市立高校の留学枠の充実など留学支援強化

・提案内容 ・提案理由

市立高校の留学枠の充実など留学支援を強化するとともに、交換留学で海外の高校生を受け入れる。留学制度を新設し、市立高校 2 校の留学枠を充実することにより、公立、私立の中高生に加え市立の高校生も留学に行くのが容易となるため、これまでに比べ、県内からの留学者数を増加させることができるほか、「市立高校独自の」という点で、留学制度を市のホームページだけではなく各市立高校（必由館高校、千原台高校）の入学者へのパンフレットに記載することで「留学」の点で高校選択を重視している中学生に高校にも興味を持ってもらえる。また、交換留学を行うことで、様々な国籍の生徒が増え、在學生にも自然と、異文化交流の場が提供できる。こうしたことが学校の魅力化につながり、入学者数が増加し、高校自体も活性化し学校の経済面でも余裕が出て様々な学校運営に活用することができる。